

## 1 議 事 日 程

[平成27年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成27年2月25日

午前 11 時 20 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について  
日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について  
日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について  
日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について  
日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について  
日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について  
日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について  
日程第8 議案第35号 平成27年度太宰府市水道事業会計予算について  
日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	原 田 久美子 議員
委員	陶 山 良 尚 議員	委員	神 武 綾 議員
”	上 疆 議員	”	芦 刈 茂 議員
”	小 畠 真由美 議員	”	長谷川 公 成 議員
”	藤 井 雅 之 議員	”	後 藤 邦 晴 議員
”	不 老 光 幸 議員	”	渡 邊 美 穂 議員
”	小 柳 道 枝 議員	”	佐 伯 修 議員
”	村 山 弘 行 議員	”	福 廣 和 美 議員
”	橋 本 健 議員		

## 3 欠席委員は次のとおりである

な し

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（19名）

市長	井 上 保 廣	副市長	平 島 鉄 信
教育長	木 村 甚 治	総務部長	濱 本 泰 裕
地域健康部長	古 川 芳 文	市民福祉部長	中 島 俊 二
建設経済部長	辻 友 治	上下水道部長	松 本 芳 生
教育部長	堀 田 徹	会計管理者	今 泉 憲 治
総務課長	友 田 浩	経営企画課長	山 浦 剛 志
地域づくり課長	藤 田 彰	市民課長	田 村 幸 光
国保年金課長	永 田 宰	都市計画課長	今 村 巧 児

社会教育課長 井 上 均

上下水道課長 石 田 宏 二

監査委員事務局長 渡 辺 美知子

**5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）**

議会事務局長 篠 原 司

議事課長 櫻 井 三 郎

書 記 山 浦 百合子

開会 午前11時20分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月13日、16日、17日及び18日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第28号 平成27年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 日程第1、議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（濱本泰裕） 議案第28号「平成27年度太宰府市一般会計予算について」ご説明させていただきます。

平成27年度につきましては、先ほど市長が提案理由説明で申し上げましたとおり、4月に市長選挙が予定されておりますことから、新規事業や政策的事業を除く、いわゆる骨格予算として編成しております。

また、編成に当たりましての基本的な考え方につきましては、市長が申し上げましたように、事務事業を効率的・効果的に推進するため、経費全般につきまして節減、合理化を図りまして、限られた財源の有効活用に努めたところでございます。

それでは、お手元にお配りしております当初予算説明資料に沿ってご説明をさせていただきます。

1 ページをお開きください。

ここに予算総括表と、下段に5年間の当初予算額の推移をグラフとして掲載しております。

一番上の網かけ部分が一般会計となっております。網かけの部分ですが、平成27年度の一般会計予算総額は241億7,019万円となっております。前年度の当初予算と比較いたしますと、15億1,330万9,000円の増額、伸び率でいいますと6.7%の増となっております。先ほど平成27年度は骨格予算と申し上げましたが、前年度からの継続事業であります体育複合施設整備事業費の約20億円が含まれておりますので、予算総額といたしましては、過去最大の予算規模となっております。これ以下は、特別会計となっておりますので、後ほど各担当部長からご説明させていただきます。

次に、2 ページに歳入の款別内訳を載せております。

まず、1 款市税ですが、市税全体としましては総額77億8,496万円を計上しております。前年度と比較いたしますと2,657万円の減、率にいたしますと0.3%の減となっております。

市税の内訳につきましては、次の3 ページに載せておりますが、法人市民税が税制改正の影響などによりまして、前年度に比べますと5,237万4,000円、11.7%の減を見込んでおります。

また、固定資産税につきましては、平成27年度が3年に1度の評価がえの年度となっておりますことから、2,420万7,000円、0.8%の減を見込んでおります。

また、2ページに戻っていただきまして、6款地方消費税交付金でございますが、平成27年度は消費税率の引き上げの効果が平年化したことから、前年度と比較いたしまして1億2,000万円、16.4%の増を見込んでおります。

次に、10款地方交付税でございます。地方交付税につきましては国において策定されます地方財政対策を勘案して算定しておりますが、平成27年度の地方財政対策では地方交付税全体として前年度比0.8%の減とされております。このことから、本市の地方交付税は平成26年度の決算見込み額をもとに算出した結果、普通交付税が前年度当初予算と比較いたしまして500万円、0.2%の減、同じく特別交付税が5,000万円、14.3%の増で見込んでいますところがございます。

次に、14款国庫支出金でございますが、前年度から1億7,459万8,000円、4.3%の増となっております。これは体育複合施設整備事業や水城跡整備事業の財源となる国庫補助金の増によるものでございます。

次に、18款繰入金でございますが、体育複合施設整備事業の推進に伴い、総合運動公園整備基金を繰り入れたことなどによりまして、前年度より4億9,538万7,000円、130.1%の増となっております。

なお、平成27年度につきましても、当初予算で財源不足の補てんとしての財政調整資金の繰り入れは行っておりません。

次に、21款市債でございますが、前年度と比較いたしますと19.2%の増、37億1,800万円で、前年度より5億9,840万円の増となっております。

増額の主な理由といたしましては、平成26年度からの継続事業であります体育複合施設整備事業の財源となる市債を13億1,480万円計上させていただいたことなどによるものでございます。

なお、その他の市債につきましては、史跡地公有化事業債が10億円、道路橋梁事業債が1億4,880万円、コミュニティ無線整備事業債が4,990万円などとなっております。

また、地方交付税の財源不足を補てんする臨時財政対策債につきましては、地方財政対策を勘案いたしまして、前年度より7,300万円、6.8%の減としております。

次に、4ページでございますが、今、申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けまして、その内訳を示しております。

自主財源につきましては、基金繰入金の増に伴い、前年度から5億円ほど増額となっております。

また、依存財源につきましても、各種給付事業や投資的事業の増に伴いまして、その財源としての国庫支出金や市債などが増額となりましたことから、10億1,275万6,000円、7.7%増加しております。

次に、歳出のご説明をさせていただきます。

5 ページに歳出の目的別内訳を載せております。

民生費につきましては、総合子育て支援施設整備事業が平成26年度で完了したことなどによりまして4億1,259万4,000円、4.5%の減、また土木費につきましては歴史まちづくり関連事業の減額に伴いまして2億5,114万9,000円、12.6%の減となっております。

一方、教育費につきましては、体育複合施設整備事業、水城跡整備事業、中学校大規模改造事業などによりまして23億4,599万1,000円、75.3%の増となっております。

6 ページには、歳出の性質別内訳を載せております。

一番上が義務的経費となっております。このうち公債費につきましては、災害復旧事業債の一部の償還が終了したことなどによりまして9,869万3,000円、4.1%の減となっておりますが、扶助費につきましては、障がい者自立支援給付費、生活保護費などの増額や、保育所の定員増に伴います保育士賃金の増などによりまして2億6,493万8,000円、5.0%の増となっております。

次に、2段目の消費的経費でございます。

物件費につきましては、統一地方選挙関係費、マイナンバー制度関係費などによりまして1億4,078万7,000円、4.4%の増となっておりますが、補助費等につきましては大野城太宰府環境施設組合負担金の減、また臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の減などによりまして3億3,764万2,000円、10.0%の減となっております。

次に、3段目の投資的経費の中の普通建設事業費でございますが、体育複合施設整備費、水城跡整備事業費の増などによりまして14億631万1,000円、43.1%の増額となっております。

最後に、4段目のその他の中の繰出金でございますが、国民健康保険事業特別会計繰出金及び後期高齢者医療関係費などが増額となった結果、1億3,753万6,000円、7.2%の増となっております。

歳出につきましては以上でございます。

なお、これ以降、7ページから10ページまでは、第五次太宰府市総合計画における目標別予算額及び目標ごとの主な事務事業につきまして、その事業内容等を掲載しておりますので、ご参照いただきますようよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、私のほうからのご説明とさせていただきます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第29号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第29号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第29号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の245ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は89億6,860万8,000円となり、前年度当初予算と比較しますと12億1,734万1,000円、率にしまして15.7%の増となっております。予算総額が大きく伸びました要因は、平成27年度から保険者間の再保険制度でございます保険財政共同安定化事業の対象医療費が全ての医療費に拡大されることによるものとなっております。

次に、250ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明をいたします。

1 款の国民健康保険税につきましては、平成25年度決算額及び平成26年度の調定、収納状況を参考としまして、高齢化などにより加入者の所得が伸びない中、被保険者数も微減傾向にありまして、前年度比1.8%減の15億2,868万3,000円を計上しております。

2 款国庫支出金につきましては、高齢化等による医療費の増などに伴い、前年度から2%増の22億1,530万9,000円を計上しております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの前期高齢者の偏在による負担を財政調整するため、被用者保険等から社会保険診療報酬支払基金を経由して市町村国保に交付されるもので、平成26年度の交付状況を勘案し、1.9%増の19億4,450万5,000円を計上しております。

5 款県支出金につきましては、保険財政共同安定化事業の拡大等により、40.7%の大幅増の5億4,951万7,000円を計上しております。

6 款共同事業交付金につきましては、共同事業に伴う福岡県国民健康保険団体連合会からの交付金でございます。保険財政共同安定化事業の拡大により、前年度から115.8%と、大幅増の18億207万5,000円を計上しております。

次に、252ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明をいたします。

歳出の約6割を占めます2 款保険給付費につきましては、高齢化や医療技術の進歩に伴い医療費が増加しており、前年度から2.9%増の54億1,709万4,000円を計上しております。

3 款後期高齢者支援金等につきましては、75歳以上の後期高齢者医療に係る現役世代が負担する4割に相当するもので、前年度から4.1%増の9億8,839万2,000円を計上しております。

6 款介護納付金につきましては、国保加入者の40歳から65歳未満の介護保険第2号被保険者の介護保険料を納付するもので、前年度から0.1%増の3億8,796万円を計上しております。

7 款共同事業拠出金は、医療費に対します保険者間の財政負担の平準化を図るための拠出金でございますが、前年度から112%の大幅増の19億5,335万2,000円を計上しております。

国民健康保険事業は、高齢者や低所得者が多いという構造的課題を抱えており、現在開会中

の国会に提出が予定されております医療保険制度改革関連法案では、市町村国保を平成30年度から都道府県と共同運営にすることなどが盛り込まれております。依然として、国保事業は厳しい財政運営が続いておりますけれども、国の動向を十分に注視しながら、医療費の伸びの抑制につながるよう全庁的な健康づくりの推進及び医療費適正化を進めながら、国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議案第30号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第30号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第30号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書の287ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は10億6,536万1,000円となり、前年度当初予算と比較しますと2,450万9,000円、率にしまして2.4%の増となっております。

予算書の290ページをお願いいたします。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

1款保険料につきましては、前年度と比べまして2%増の8億7,444万4,000円を計上しております。

3款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金として一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度から3.9%増の1億9,086万円を計上しております。

次に、同じページの下段の歳出でございまして、歳出のほとんどを占めます1款総務費につきましては、保険料、広域連合事務費負担金及び保険基盤安定制度繰入金の増額によりまして、前年度から2.4%増の10億5,931万1,000円を計上しております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第4 議案第31号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第31号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第31号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書の303ページをお願いいたします。

まず、保険事業勘定予算総額は45億1,393万7,000円となり、前年度当初予算と比較しますと0.5%、2,465万2,000円の増となっております。また、介護サービス事業勘定予算総額は3,357万8,000円となり、前年度当初予算と比較しますと、5.1%、161万6,000円の増となっております。

保険事業勘定につきまして309ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款保険料につきましては、65歳以上の1号被保険者保険料9億9,116万2,000円で、被保険者数の増加を見込み、前年度と比べまして1,234万2,000円の増となっております。

3 款国庫支出金は、前年度より787万1,000円増の8億9,597万8,000円、4 款支払基金交付金につきましては各医療保険加入者の40歳から64歳までの2号被保険者保険料の交付金が主なものでございまして、448万7,000円増の12億4,365万4,000円を計上しております。

次に、7 款繰入金につきましては、383万7,000円減の7億3,097万円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

310ページをお願いいたします。

1 款総務費につきましては、職員給与費、介護保険システム電算委託料及び介護認定審査調査等の予算としまして130万5,000円増の1億6,301万6,000円を計上しております。

2 款保険給付費は、歳出の約95%を占めておりますが、介護報酬の減額改定等により、対前年度比0.4%、1,832万9,000円増の42億7,833万8,000円を計上しております。

3 款地域支援事業費につきましては、506万8,000円増の6,886万2,000円を計上しております。

続きまして、介護サービス事業勘定につきまして347ページをお願いいたします。

歳入の主なものとしましては、1 款サービス収入はケアプラン作成に対します福岡県国民健康保険団体連合会からの介護予防サービス計画費収入の2,507万6,000円を計上しております。

次に、348ページの歳出でございますけれども、1 款総務費はケアマネージャーの嘱託職員賃金など3,164万9,000円を計上しております。

よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第32号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第32号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸



付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

地域健康部長。

○地域健康部長（古川芳文） それでは、議案第32号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書の355ページから367ページでございます。

まず、予算書の356ページから357ページをごらんください。

平成27年度歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ179万5,000円、対前年比2.22%の増、金額では3万9,000円の増額となっております。

次に、予算書358ページから359ページの事項別明細書をごらんください。

予算総額が増額となりました主な要因は、滞納整理のため住宅新築資金等貸付金審議会を開催するための委員報酬等でございます。

次に、予算書367ページをごらんください。

公債償還の現在高につきましては、平成25年度末で439万3,000円、平成26年度末で309万2,000円、平成27年度では137万2,000円を元金償還見込みといたしております、平成27年度末では172万円となる見込みでございます。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

以上、よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 議案第33号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、議案第33号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第33号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

この特別会計は筑紫地区4市1町で共同設置をしております筑紫地区障害支援区分等審査会の事業予算でございます、平成26年度から2年間、本市が事務局となっておりますことから、本特別会計予算を上程させていただいております。

本審査会では、障がいをお持ちの方が障がい福祉サービスを受給する際に障がいの多様な特性や心身の状態に必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すため、障害者総合支援法に基づき、障がい支援区分を決定しております。

それでは、予算書の369ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は、前年度当初予算に比ばまして414万9,000円減の1,290万2,000円となっております。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

374ページをお願いいたします。

1 款分担金及び負担金の807万6,000円につきましては、4市1町からの負担金でございますが、平成27年度に各市町で見込まれます審査の対象件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割を計上しております。平成27年度につきましては、本市が111件、筑紫野市146件、春日市156件、大野城市185件、那珂川町74件の総審査数672件を見込んでおります。

次に、2 款国庫支出金321万1,000円につきましては歳出予算のうち補助対象となります経費の2分の1を、7 款県支出金160万5,000円につきましては歳出予算のうち補助対象となります経費の4分の1を計上しております。

次に、376ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款1 項総務管理費は、事務局の業務を行う嘱託職員の賃金、審査会システムの電算委託料、及び各市町間をつなぐ専用回線の使用料など634万4,000円を計上しております。

次に、1 款2 項審査会関係費につきましては、認定審査会委員の報酬及び費用弁償としまして605万8,000円を計上しております。

よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第34号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第34号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 議案第34号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

この特別会計は、筑紫地区4市1町で共同設置しております筑紫地区介護認定審査会の事業予算でございまして、2年交代で審査会の庶務を担当することとなっております。平成27年度から、これまでの大野城市さんから引き継ぎ、本市におきまして本特別会計予算を設けるものでございます。

本審査会では、40歳以上の介護保険被保険者の方が介護サービスを利用するために、本人の能力、介護の方法、障がいの現象の有無といった3つの評価軸をもとに、介護の度合いを示すため、介護保険法に基づきまして、要介護状態区分を決定しております。

それでは、予算書の379ページをお願いいたします。

歳入歳出予算総額は、1億1,563万5,000円を計上しております。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

384ページをお願いいたします。

1 款分担金及び負担金の1億1,559万5,000円につきましては、ほとんどが4市1町からの負担金でございますが、平成27年度に各市町で見込まれます審査の対象件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割を計上しております。

総審査件数につきましては、本市が2,953件、筑紫野市3,495件、春日市3,664件、大野城市3,396件、那珂川町1,619件の1万5,127件を見込んでおります。

次に、386ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明を申し上げます。

1 款 1 項総務管理費は、事務局の業務を行う嘱託職員の賃金、審査会システム費用など、6,367万円を計上しております。

次に、1 款 2 項認定審査会費につきましては、認定審査会委員の報酬及び費用弁償としまして5,096万5,000円を計上しております。

よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 8 議案第 35 号 平成 27 年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第 8、議案第 35 号「平成 27 年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 水道事業会計の予算書は水色の表紙になりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、平成 27 年度において予定しております予算の概要について説明をさせていただきます。

4 ページをお願いいたします。

まず、1 款 1 項 1 目の給水収益につきましては、有収水量の伸びなどで、前年度に比べ 2.2%増の11億8,745万4,000円を予定しております。

次に、2 項 2 目の加入負担金につきましては、前年度に比べてマイナス 10%、約 700 万円の減となる見込みでございます。

前年度の平成 26 年度におきましては、榎寺、五条台といった比較的大型の一斉加入がありましたけれども、本年度は通常の見込み件数をベースとして計上しております。

次に、3 目の長期前受金戻入でございますけれども、これは会計制度の見直しにより新設さ

れました科目になりますけれども、今までの建設財源となった国庫補助金等の減価償却費に相当する額を計上するものでございます。

次に、5ページをお願いいたします。

1款1項1目の原水及び浄水費につきましては、隔年で行っております業務委託費の計上、及びうるう年の影響で1日分の受水費が増加するなど、前年度に比べて約900万円の増となっております。

次に、2目の配水及び給水費が約340万円の減となっております。これは、次のページの修繕費でございますけれども、係る費用の一部を流動負債の引当金で対応することとし、費用の抑制を図ったことが主な要因でございます。

次に、3目の業務費につきましてはコンビニ収納が増加している関係で若干の増、4目の総係費は人件費の関係で約190万円の減となっております。

7ページの5目減価償却費は1,000万円ほどの増となっております。これは前年度取得資産分が追加となったことなどによるものでございます。

次に、8ページをお願いいたします。

2項3目の消費税でございますが、今年度は前年度に比べて工事費等の支出額が減少しております関係で約1,800万円の増となっております。

次に、3項の特別損失が1,580万円ほど減少しております。これはその他特別損失になりますけれども、会計制度の見直しにより、新会計制度への移行処理として平成26年度のみ計上する引当金繰入額が不要となったことによるものでございます。

次に、9ページの資本的収入でございますけれども、消火栓の新設及び五条雨水幹線築造工事に伴います水道管の布設がえ工事負担金になりますけれども、合計の1,317万4,000円を計上しております。

次に、10ページをお願いいたします。

資本的支出の2目配水施設費でございますけれども、今年度は松川、国分、水城地区の新設工事、及び都府楼、梅香苑地区の布設がえ工事などを予定しております。

また、今後、効率的な運転管理の推進でありますとか、老朽化対策など重要な課題の取り組みとしまして、水道配水施設等基本計画を策定してまいります。

次に、11ページをお願いいたします。

予定キャッシュフロー計算書でございます。

本年度は、1の業務活動ではプラス4億2,435万4,000円、2の投資活動及び3の財務活動ではそれぞれマイナスの2億9,872万2,000円及び1億1,512万9,000円となる見込みですので、合計は下から3行目になりますけれども、この1年間で現金は1,048万3,000円増加する予定でございます。

その下の2行の数値は、各年度末の現金預金残高をあらわしております。

概要の説明は以上でございますけれども、12ページ以降に給与費明細書、債務負担行為に関

する調書、平成26年度及び平成27年度の予定損益計算書、並びに予定貸借対照表、会計方針等に関する注記を添付いたしております。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第9 議案第36号 平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第9、議案第36号「平成27年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） 下水道事業会計は黄色の表紙になります。

よろしく願いいたします。

それでは、平成27年度において予定しております予算の概要について説明をさせていただきます。

4ページをお願いいたします。

まず、1款1項1目の下水道使用料でございます。前年度に平均7%の引き下げを行ったところでございますけれども、経過措置により2カ月分は引き下げ前の料金となりました関係で、対前年比では約1,000万円減の11億6,518万8,000円となる見込みでございます。

次に、2目の他会計負担金及び2項2目の他会計補助金につきましては、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金でございます。

次に、3目の長期前受金戻入につきましては、水道事業と同様に、今までの建設財源となっております国庫補助金等の減価償却費に相当する額を計上するものでございます。

5ページをお願いいたします。

収益的支出でございますが、下水道事業費用は前年度に比べて約7,000万円の減となっております。

まず、2目の流域下水道維持管理費でございますけれども、御笠川那珂川分の維持管理負担金単価が平成27年度から3円の引き上げとなりました関係で約1,800万円の増となっております。

3目業務費は、徴収事務委託料などで約1,560万円の減、4目の総係費では人件費関係で約1,300万円の減となる予定でございます。

次に、6ページの5目減価償却費につきましては、前年度取得資産分の追加などで約580万円の増となっております。

6目の資産減耗費につきましては、除却資産の減少により約1,460万円の減となっております。

7ページをお願いいたします。

2 項 1 目の支払い利息は年々減少し、今年度はさらに約2,280万円の減となっております。

3 目の消費税でございますけれども、今年度は仮払消費税の減少が大きく、約970万円の増となる見込みでございます。

次に、3 項の特別損失につきましては、これも水道事業と同様に新会計制度の移行処理分がなくなります関係で、約3,750万円の減となる見込みでございます。

次に、8 ページの資本的収入でございますけれども、総額は8億5,123万1,000円となり、前年度に比べて1億7,464万4,000円の増となっております。これは建設改良費に伴います企業債や国庫補助金の増加が主な要因となっておりますけれども、4 項の負担金では一括納付の増加により約480万円の減少、5 項の他会計補助金につきましては資本費平準化債が完済となってきたことなどで1,000万円弱の減少となっております。

9 ページをお願いいたします。

1 目の公共下水道整備費でございますけれども、本年度は五条及び芝原雨水の工事、実施設計など、比較的大きな事業を予定しておりますので、前年度に比べ約1億4,650万円の増となっております。

2 目の流域下水道整備費につきましては、福岡県への負担金になりますけれども、今年度は約430万円の増となっております。

次に、10ページの3 目固定資産購入費につきましては、五条雨水等に伴います管渠埋設用地の取得費及び軽自動車1 台分の購入費でございます。

2 款の企業債償還金につきましては、平成25年度に元金償還のピークを迎えておりますので、約2,090万円減の9億9,718万円となり、10億円の大台を下回ってきております。ちなみに、企業債残高のピークは平成12年度末で、実に177億円を超えておりましたけれども、これが平成26年度末に100億円を切り、平成27年度末には85億円を下回るようになっております。

企業債は、元利ともに今後も減少していく見通しであり、建設工事も終えんに近づいてきておりますので、下水道事業は安定期に入ったと見ていいと考えておりますけれども、今後とも継続して健全経営に努めていくこととしております。

説明は以上でございます。

11ページ以降に財務諸表等を添付いたしておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

以上をもちまして各会計の概要説明は終わりました。

今回は、3月13日金曜日午後2時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） これをもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午後0時01分

~~~~~ ○ ~~~~~